

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-123585

(43)Date of publication of application : 17.05.1996

(51)Int.Cl.

G06F 1/26

G06F 11/00

G06F 15/00

(21)Application number : 06-254930

(71)Applicant : TAITO CORP

(22)Date of filing : 20.10.1994

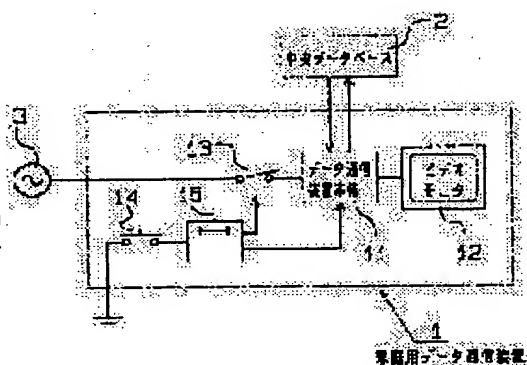
(72)Inventor : MATSUDA NARIHIRO
TERAUCHI TAKENOBU

(54) DOMESTIC DATA COMMUNICATION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the domestic data communication equipment without the risk of turning off the power as soon as the power supply button is depressed erroneously during the operation.

CONSTITUTION: The device is equipped with a switch 13 which opens and closes the main power supply, power supply button 14 which is controlled by a user to open and close the main power supply switch, and delay controller 15 which works when the power supply button 14 is controlled during the switch 13 is tuned on and a signal which cuts the main power supply is generated so as to delay a command signal of cutting the main power supply for the prescribed time, displays the warning display consisting of a countdown picture and the prescribed matters that requires attention on the screen of a video monitor 12 during the constant delay time, then turns off the switch 13 at the end of the countdown, and keeps turning on the switch 13 by being cleared when the button 14 is controlled again before the end of the countdown.



(19)日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-123585

(43)公開日 平成8年(1996)5月17日

(5)IntCl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	FI	技術分野
G 0 6 F	1/26			
G 0 6 F	11/00	3 5 0 G		
G 0 6 F	15/00	3 2 0 A 9364-5L		
		G 0 6 F	1/ 00	3 3 4 C
審査請求	未請求	請求項の数 4	O L	(金 6 頁)

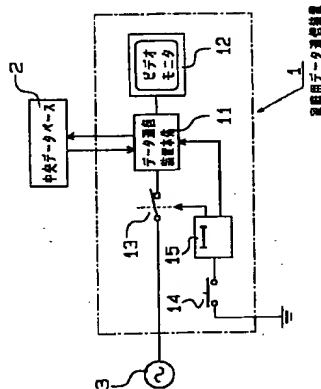
(21)出願番号	特開平8-254330	(71)出願人	000132840 株式会社タイトー
(22)出願日	平成6年(1994)10月20日		東京都千代田区平河町2丁目5番3号 タイトービルディング 秋田 成広 株式会社タイトー内
		(72)発明者	東京都千代田区平河町2丁目5番3号 株 守内 武立 株式会社タイトー内
		(74)代理人	弁理士 最上 正太郎

(54) [発明の名称] 家庭用データ通信装置

(57) [要約]

【目的】 装置の稼働中に誤操作により電源ボタンを押しても、直ちに電源が落ちることのない家庭用データ通信装置を提供する。

【構成】 主電源開閉スイッチ (13) と、主電源開閉スイッチを開閉するためユーザーが操作可能な電源ボタン (14) と、主電源開閉スイッチ (13) がオン状態において電源ボタン (14) が操作され、主電源を遮断する信号を発生したとき作動して、その一定の遅延時間後、ビデオモニタ (12) の画面にカウントダウン画像と所定の注意事項とから成る警告画面を表示せしめる電源ボタン (14) が操作された場合には主電源開閉スイッチ (13) をオン状態に保つ遅延制御装置 (15) と、を設けたことを特徴とする。



(1)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 公衆通信回線を通じて中央データベースと通信装置 (1) において、主電源開閉スイッチ (13) と、

主電源開閉スイッチを開閉するためユーザーが操作可能な電源ボタン (14) と、

主電源開閉スイッチ (13) がオン状態において電源ボタン (14) が操作され、主電源を遮断する信号を発生したとき作動して、その主電源遮断指令信号を一定時間遅延させると共に、その一定の遅延時間の間、ビデオモニタ (12) の画面にカウントダウン画像と所定の注意事項とから成る警告画面を表示せしめ、カウントダウンが終了した場合には主電源開閉スイッチ (13) をオフとし、カウントダウン終了前に再度電源ボタン (14) が操作された場合にはクリアされて主電源開閉スイッチ (13) をオン状態に保つ遅延制御装置 (15) と、を設けたことを特徴とする上記の家庭用データ通信装置。

【請求項2】 家庭用カラオケ装置である請求項1に記載の家庭用データ通信装置。

【請求項3】 ビデオゲーム機である請求項1に記載の家庭用データ通信装置。

【請求項4】 クイズゲーム機である請求項1に記載の家庭用データ通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、公衆通信回線を通じて中央データベースから所望の情報をダウンロードして利用する家庭用データ通信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、中央データベースに記録された所望の情報を公衆通信回線を通じて端末機で呼び出して利用する家庭用データ通信装置が普及し始め、ユーザーはこの装置を用いてカラオケ情報、ゲーム情報、株式情報、天気情報等を始めとする様々な情報を入力し、利用することができるようになった。

【0003】 而して、このような家庭用データ通信装置において、装置の稼働中にうっかり誤って電源ボタンを押すと、主電源開閉スイッチが直ちにオフになり、利用中のカラオケデータ等は使用不能になるばかりでなく、RAMに記録されていたプログラムやデータも破棄され、再度使用しようとするとき改めてデータの転送を受けなければならないという不都合があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記の問題点を解決するためなされたものであり、その目的とするところは、装置の稼働中に誤操作により電源ボタンを押しても、直ちに電源が落ちず、上記の如き不都合を解消できる家庭用データ通信装置を提供することにある。

(2)

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の目的は、公衆通信回線を通じて中央データベースから所望の情報の供給を受け利用する家庭用データ通信装置において、主電源開閉スイッチと、主電源開閉スイッチを開閉するユーザーが操作可能な電源ボタンが操作され、主電源を遮断する信号を発生したとき作動し、その主電源遮断指令信号を一定時間遅延させると共に、その一定の遅延時間の間、ビデオモニタの画面にカウントダウン画像と所定の注意事項とから成る警告画面を表示せしめ、カウントダウンが終了した場合には主電源開閉スイッチをオフとし、カウントダウン終了前に再度電源ボタンが操作された場合にはクリアされて主電源開閉スイッチをオン状態に保つ遅延制御装置と、を設けたことを特徴とする上記の家庭用データ通信装置によって達成でき、家庭用カラオケ装置や、ビデオゲーム機、クイズゲーム機等に好適に適用できる。

【0006】

【作用】 上記の如き構成であると、装置の稼働中にユーザーが誤操作により電源ボタンを押しても、直ちに電源が落ちず、警告画面が表示される間に電源が落ちるまでカウントダウンが行なわれるので、その期間中に再度電源ボタンを押せば装置は稼働状態に復帰し、改めて中央データベースからデータ等のダウンロードを行なうことなく、当初のデータ等を継続して利用できるものである。

【0007】

【実施例】 以下、図面を参照しつつ本発明を具体的に説明する。図1は、本発明に係る家庭用データ通信装置の構成を示す説明図、図2は、装置の稼働中に電源ボタンを押した場合のビデオモニタ画面の推移を示す説明図、図3は、カウントダウン中のビデオモニタ画面の表示状態を示す説明図、図4は、主電源開閉スイッチがオフとなる寸前のビデオモニタ画面の表示状態を示す説明図、図5は、本発明に係る家庭用データ通信装置の動作を示すフローチャートである。

【0008】 図1中、1はユーザーの家庭に設置される家庭用データ通信装置、11はそのデータ通信装置本体、12はビデオモニタ、13は主電源開閉スイッチ、14は電源ボタン、15は遅延制御装置であり、2は公衆通信回線を通じて家庭用データ通信装置1へデータ等の供給を行なう中央データベース、3は商用電源である。

【0009】 図1に示すように、主電源開閉スイッチ13がオンの状態にあり、家庭用データ通信装置1が稼働状態 (アプリケーション実行中) にある場合には、ビデオモニタ12の画面にカラオケ、ゲーム、株式情報等の映像が表示されている。この状態で、ユーザーが電源ボタンを押すと、従来の装置においては直ちに主電源開閉

(3)

スイッチ13がオフとなって、装置の動作はすべて停止し、使用中のデータ等も消滅してしまうものであった。然しながら、本発明においては、ユーザーが電源ボタンを押しても直ちに主電源開閉スイッチ13がオフとなることはなく、遅延制御装置15が動作して、一定時間内（例えば10秒間）は主電源開閉スイッチ13がオンに保たれたまま、以下の動作が行われる。

【0010】即ち、電源ボタンが操作されると、その信号は遅延制御装置15にもたらされ、遅延制御装置15はその主電源遮断指令信号を一定時間遅延せると共に、その一定の遅延時間の間、ビデオモニタの画面にカウントダウン画像と所定の注意事項とから成る警告画面を表示せしめる。即ち、図3に示す如く、例えば「インスを終了します」という表示と共に、「あと何秒」という数字を表示し、この数字が1秒経過ごとに0→8→7→...と変化してゆく。そして、その下のメッセージ欄には、例えば「現在カラオケを中断中。（課金済の曲が6曲残っています。）」というような、現在の曲の曲名（カラオケ、ゲーム、情報サービス、ユーザー登録/修正等）の処理、サービスを行っていたかや、残りの予約曲の有無等が表示されると共に、「秒読みが終了」というような警告文が表示される。

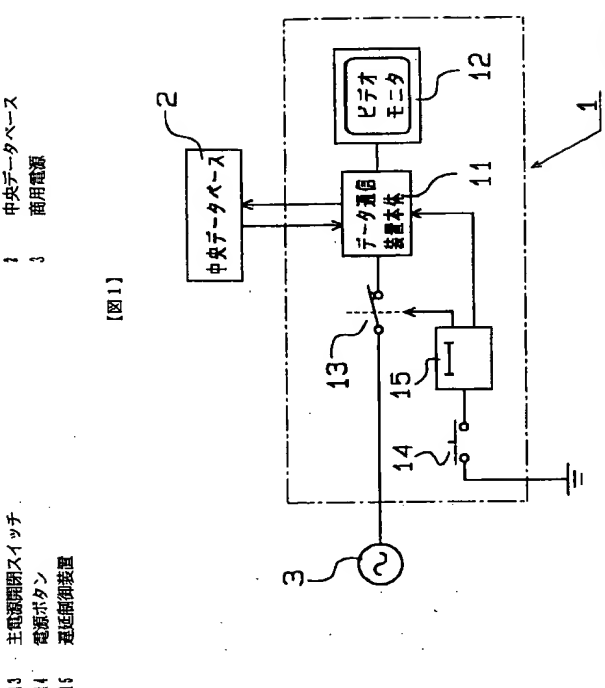
【0011】この画面表示によりユーザーが操作ミスに気付き、カウントダウン期間中に再度電源ボタンを押すとその信号により遅延制御装置15の動作はクリアされ、主電源開閉スイッチ13のオン状態は維持されて元のアプリケーション状態に復帰し、これまでの処理、サービスが継続して行われる。

【0012】一方、これまでの処理、サービスを中止してもよい場合、即ち、ユーザーがもともと使用を中止するつもりで、終了ボタンを押すべきところを誤って電源ボタンを押してしまったような場合には、そのまま放置すれば、10秒経過すると画面のカウントダウンの数字は「0」になり、ついで画面には図4に示すように「またのご利用をお待ちしております。ありがとうございます」というような文面及び所定の図柄等から成る終了メッセージが3秒間表示された後、画面はフェードアウトされ、主電源開閉スイッチ13がオフにされ、装置の動作はすべて停止し、使用中のデータ等も破棄される。

【0013】図2は、以上の動作をわかり易く図示したものである。【0014】また、図5は、これらの動作のプログラムのフローチャートである。

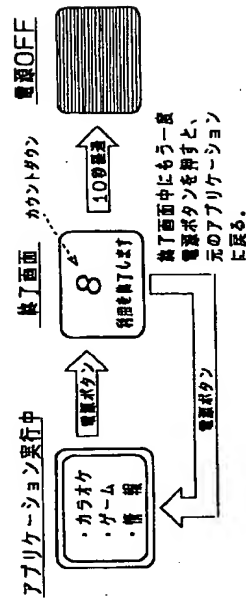
【0015】なお、装置による所定の処理、サービス期間中のみならず、例えば中央データベースとの通信期間中に誤って電源ボタンが押されたような場合にも上記の如き動作が行われることが望ましいので、以下に、装置の様々な動作状態において電源ボタンが押された場合

(4)



家庭用データ通信装置

(5)



(6)

の対応形態を列記する。ここで「電源オフプロセス」とは、上記の如く電源ボタン14が押された後、遅延制御装置15によるカウントダウン動作を経て主電源開閉スイッチ13のオフ動作、若しくは電源ボタン14の再操作による主電源開閉スイッチ13のオン維持がなされる一連のプロセスを指すものである。

- スタートアップ処理中——電源オフプロセスへ
- カラオケ演奏中——演奏を一時停止し、電源オフプロセスへ
- カラオケ演奏一時停止中——電源オフプロセスへ
- ゲームソフト起動中——ポーズ状態にして、電源オフプロセスへ
- ゲームソフトポーズ中——電源オフプロセスへ
- 情報画面表示中——電源オフプロセスへ
- 機器設定画面——機器設定を中止し、電源オフプロセスへ
- ユーザー登録中——登録を中止し、電源オフプロセスへ

【0016】

【発明の効果】本発明は以上の如く構成されるから、本発明によるときは、装置の稼働中にユーザーが誤操作により電源ボタンを押しても、直ちに電源が落ちず、警告画面が表示され実際に電源が落ちるまでカウントダウンが行われるので、その期間中に再度電源ボタンを押せば装置は稼働状態に復帰し、改めて中央データベースからデータ等を継続して利用できるのである。

【0017】なお、本発明は以上の実施例に限定されるものでなく、本発明の目的の範囲内において上記の説明から当業者が容易に想到し得るすべての変更実施例を包摂するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る家庭用データ通信装置の構成を示す説明図である。

【図2】装置の稼働中に電源ボタンを押した場合のビデオモニタ画面の推移を示す説明図である。

【図3】カウントダウン中のビデオモニタ画面の表示状態を示す説明図である。

【図4】主電源開閉スイッチがオフとなる寸前のビデオモニタ画面の表示状態を示す説明図である。

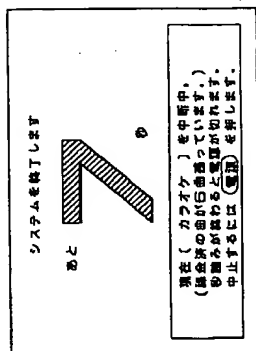
【図5】本発明に係る家庭用データ通信装置の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

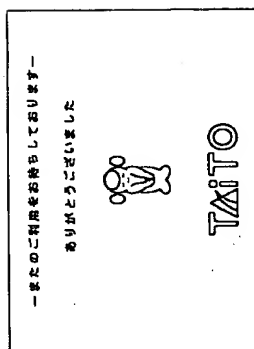
- 1 家庭用データ通信装置
- 2 データ通信装置本体
- 12 ビデオモニタ

(5)

【図3】



【図4】



【図5】

